

(様式4)
令和3年3月18日

令和2年度 第3回 大阪市立歌島中学校 学校協議会 実施報告書

校園名 大阪市立歌島中学校

校園長名 飯田 浩二

日 時	令和3年3月16日(火) 19時00分~20時10分(1時間10分)			
場 所	大阪市立歌島中学校 多目的室			
出席者	委員など	斎藤 満広(会長) 兼田 定廣(副会長) 川久保秀雄(副会長) 植田 敦子(副会長) 豊田 光(書記)		
	校園	飯田 浩二(校長) 辻野 信(副校長) 上田 武豊(教頭)		
	区役所	植田 大聖(学校教育支援担当)		
議題	(1) 学校の現状について (2)「学校評価アンケート結果」について (3) 令和2年度「運営に関する計画・自己評価書(最終評価)」について (4)「学校関係者評価報告書」について (5) プール・格技室建設工事について (6) その他			
協議要旨	協議の結果		意見の概要	
	(1)	・「学校評価アンケート結果」について説明をして理解を得た。	新型コロナウイルス感染症対応の1年であったが、学校の教育活動も復活しアンケートを行うことができた。個々の項目については、「運営に関する計画・自己評価」で分析する。	
	(2)	・「運営に関する計画・自己評価書(最終評価)」について、目標状況や取組の進捗状況を説明して理解を得た。	・全市共通項目にある、いじめの解消率100%の達成、「学校の決まりや規則を守っている」と答えていた生徒の割合が、96%と高く、子供が安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現は、概ね達成できている。 ・校内調査で、暴力行為を複数回行う生徒数が、ゼロだったのは学校の状況として実感している。 ・不登校生対応の多様な取組を行っているが、理由が複合的であり、結果としてなかなか減らすことができない。 ・規範意識の向上が、必ずしも学力の向上に比例していない現状がある。 ・生徒達は言われたことはするが、自分から進んでする力が弱く、主体的・自主性を育	

		<p>む必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新1年生は各自手帳を持って毎日書き込みを行い、自分で考え判断して行動する力をつける取組を行う。 ・ＩＣＴ機器を積極的に使用し、デジタル学習教材の教員への活用啓発をおこない、理解力向上につなげている。 ・いいとこ見つけは、自分には良いところがあるという「自己肯定感」につながるのである。 ・部活動が活発で、入部率が高い。外部の部活動指導員の支援もある。 ・新装となった図書館で、学校と元気アップ事業とが共同で運営している「まなビスタ（放課後学習会）」の充実を図り、より多くの生徒が参加できるようしてください。 ・防災に対する興味関心のある生徒の割合が低いのが気になる。 <p>・新型コロナウイルス対応のもと、全体的に自己評価は妥当である。</p> <p>・プールは5月末、格技室は10月末完成。今年の夏は待望のプール授業ができます。</p> <p>・今後も、学力向上に向けた区役所の支援よろしくお願ひします。</p>
協議資料		<p>(1) 「学校評価アンケート結果」について (2) 令和2年度「運営に関する計画・自己評価書（最終評価）」 (3) 第2期増築その他工事 概略工程表</p>
備考		<p>傍聴者[0]名</p>